

2022年6月14日

株 主 各 位

会 社 名 株式会社SANKYO
 代 表 者 名 代表取締役 石原明彦
 社 長
 (コード番号 6417 東証プライム)
 問 合 せ 先 常務執行役員 高橋博史
 管理本部長
 (TEL. 03-5778-7777)

インターネット開示事項の一部修正について

当社は、「第57回定時株主総会招集ご通知に際してのインターネット開示事項」の記載事項の一部に修正すべき事項がございましたので、お詫び申し上げますとともに、下記のとおりお知らせいたします。(修正箇所には下線を付しております)

なお、当社ウェブサイトに掲載いたしましたインターネット開示事項は、修正後のものに差し替えております。

記

1. 修正箇所

「第57回定時株主総会招集ご通知に際してのインターネット開示事項」 10～11 ページ
 連結注記表

6. 金融商品に関する注記

(3) 金融商品の時価の適切な区分ごとの内訳等に関する事項

(修正前)

① 時価をもって連結貸借対照表計上額とする金融資産

(単位：百万円)

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
有価証券及び投資有価証券 その他有価証券 株式	13,017	<u>15,000</u>	—	<u>28,017</u>
資 産 計	13,017	15,000	—	28,017

② 時価をもって連結貸借対照表計上額としない金融資産

(単位：百万円)

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
受取手形	—	9,099	—	9,099
有価証券及び投資有価証券				
満期保有目的の債券				
社債	—	14,998	—	14,998
その他	—	105,000	—	105,000
資産計	—	129,097	—	129,097

(注) 時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

有価証券及び投資有価証券

上場株式、社債は相場価格を用いて評価しております。上場株式は活発な市場で取引されているため、その時価をレベル1の時価に分類しております。一方で、当社が保有している社債は、市場での取引頻度が低く、活発な市場における相場価格とは認められないため、その時価をレベル2の時価に分類しております。

受取手形

受取手形の時価は、一定の期間ごとに区分した債権ごとに、債権額と満期までの期間及び信用リスクを加味した利率を基に割引現在価値法により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

(修正後)

① 時価をもって連結貸借対照表計上額とする金融資産

(単位：百万円)

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券				
株式	13,017	—	—	13,017
合同運用指定金銭信託	—	15,000	—	15,000
資産計	13,017	15,000	—	28,017

② 時価をもって連結貸借対照表計上額としない金融資産

(単位：百万円)

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
受取手形	—	9,099	—	9,099
有価証券及び投資有価証券				
満期保有目的の債券				
<u>短期社債</u>	—	14,998	—	14,998
<u>譲渡性預金</u>	—	55,000	—	55,000
<u>合同運用指定金銭信託</u>	—	50,000	—	50,000
資 産 計	—	129,097	—	129,097

(注) 時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

有価証券及び投資有価証券

上場株式は相場価格を用いて評価しております。上場株式は活発な市場で取引されているため、その時価をレベル1の時価に分類しております。

短期社債、譲渡性預金及び合同運用指定金銭信託は、市場での取引頻度が低く、活発な市場における相場価格とは認められないため、その時価をレベル2の時価に分類しております。

受取手形

受取手形の時価は、一定の期間ごとに区分した債権ごとに、債権額と満期までの期間及び信用リスクを加味した利率を基に割引現在価値法により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

以 上